

第36回日本疫学会学術総会&
第3回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会

第31回疫学の未来を語る若手の集い

疫学研究者の今と未来を考えよう： 国際比較から見る 研究環境と若手研究者の現在地

- 日本の研究力低下が指摘される中、疫学研究者を取り巻く環境もまた大きく変化しています。
- 本セッションでは、OECD や NISTEP の国際比較データを用いて、日本の研究投資、大学セクター、若手研究者の雇用状況を俯瞰し、疫学分野が現在どの位置にあるのかを整理します。
- さらに、非正規雇用、研究時間の制約、臨床・教育負担などの課題を踏まえ、アジアからの若手研究者にも最新状況を共有いただきます。
- 若手研究者が持続的に研究を続けるために必要な環境について、制度的・構造的視点から議論します。

日時：2025年1月28日（水） 18～19時

会場：出島メッセ長崎 1F Room101

参加費：無料（年齢、会員・非会員問わず）

事前申し込み：不要

発表言語：英語



終了後、情報交換会（要事前登録、先着40名）も開催します

登録・詳細はこちら：<https://forms.gle/MYg7rcGenTVfrRxa8>

◆企画・運営

実行委員長：河原 智樹（東京科学大）、疫学の未来を語る若手の会 世話人一同

疫学の未来を語る若手の会 ホームページ <https://jeaweb.jp/youth/>

◆企画詳細

研究環境と若手研究者の現在地について、
様々な視点からお話しいただきます。

- **イントロダクション**（東京科学大学 河原智樹先生）
- **非正規雇用と研究環境**（名古屋大学 永吉真子先生）
日本における任期付き・非正規雇用研究者の現状と課題
- **研究者の働き方改革と研究時間**（東京科学大学 前田裕斗先生）
疫学研究者の労働時間・研究時間の国際比較
- **国際比較データによる日本の位置づけ**（東京科学大学 河原智樹先生）
OECD/NISTEPデータによる上位論文比・博士課程の動向
- **外国人研究者から見た日本の研究環境**（東京科学大学 Yu Par Khin先生）
- **韓国の若手研究者からの報告**（調整中）
韓国の研究投資構造・博士支援・大学セクターの課題と展望
- **全体討論**
構造的課題と将来に向けた方策を中心に